

＝給食の奇跡＝

1. 過越しの過ごし方

初年：宮清め(エルサレム、ヨハネ 2:13-16)、2年目：安息日におけるベテスダでのいやし(エルサレム、ヨハネ 5章)、3年目：給食の奇跡(ガリラヤ周辺)、最終年：十字架(エルサレム)

2. 食物の奇跡 について

2-1 何かを「悟らせる」ことが目的。

イ) マルコ 8:14-21 全部で七つの完璧な叱責。

ロ) 他の奇跡との違い：相手の信仰を確認しない。人々の反応や弟子たちの反応の記述があまりない。

2-2 ユダヤ人への給食：ガリラヤ湖周辺 マルコ 6:33-44

律法は与えられたが、導かれていないユダヤ人達 5000 人(男子のみ)が対象

十二のかご：小型の籠(2食分の量)、コフィンノス(kophinos)、ユダヤ人のかご。

十二弟子に残パンが託され、十二部族が救われる。

2-3 ユダヤ人達への「いのちのパン」の教え ヨハネ 6:22-71:翌日

新約の契約について説明。永遠のいのちを得るためのいのちのパンと契約の血、そして十字架と復活。

⇒実際にちょうど1年後に起こること！！ マルコ 14:22-25 最後の晚餐、旧約の契約 出 24章

⇒多くのユダヤ人が離れて行った！！

2-4 異邦人への給食：デカポリスの地方(マルコ 7:31) マルコ 8:1-9

三日間イエスと共にいて空腹な異邦人 4000 人(男子のみ)が対象

七つのかご：スプリス(spuri)、異邦人が使う大きい籠

七つの教会(エクレシア)に残パンが託され、異邦人達が救われる。

3. 結論

マルコ 8:22-25 盲人の目を2段階で癒す。給食の奇跡は癒しの第一段階。

1年後の新約の契約と十字架・復活が弟子達の心の目を完全に開く。⇒癒しの第二段階。

私たちにとって、十字架を知り、契約に入った現在が癒しの第一段階。イエスの再臨で癒しの第二段階が行われ、目が完全に開かれる。。

パリサイ人のパン種：宗教、ヘロデのパン種：この世の支配

詩篇

132:14 「これとはこしえに、わたしの安息の場所、ここにわたしは住もう。わたしがそれを望んだから。

132:15 わたしは豊かにシオンの食物を祝福し、その貧しい者をパンで満ち足らせよう。

132:16 その祭司らに救いを着せよう。その聖徒らは大いに喜び歌おう。

132:17 そこにわたしはダビデのために、一つの角を生えさせよう。わたしは、わたしに油そそがれた者のために、一つのともしびを備えている。

132:18 わたしは彼の敵に恥を着せる。しかし、彼の上には、彼の冠が光り輝くであろう。」